

後期基本計画 平成31年度 施策方針書

政 策 : 06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策 : 02 総合計画の推進と未来の価値の創造

施 策 : 02 未来に向けた滝沢の価値の創造

施策担当職・氏名	企画政策課 総括主査 山本 和広
-----------------	------------------

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	本市は、県都盛岡市に隣接し、国・県等の研究機関や防衛施設のほか、複数の大学・短期大学が立地する恵まれた環境を有しています。また、盛岡広域8市町による盛岡広域連携中枢都市圏の形成に係る連携協約に基づく取組や、民間企業との包括連携協定の締結など、様々なかたちでの連携に向けた取組が始まっています。これらの強みと経験を活かして、次なる公民連携のステージに向けた“共創”を推進することで、効果的な政策展開と経営資源（ヒト・モノ・カネ）の確保に努め、新たな価値の創造を図ります。	
--	--	--

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成34年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市に愛着がある人の割合 単 位 %	74.6	76	77	79	80	80	-
	単 位		-	-	-	-	-	0.0
	単 位							
	単 位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成29年度	平成30年度 (見込)	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	4 年 後
1	7727 学連携活性化事業 大学・学生との連携件数 単 位 件	目 標 値 実 績	5 0	5 0	5 -	5 -	5 -	5 -	0 -
2	7739 滝沢ふるさと会補助事業 情報提供数 単 位 件	目 標 値 実 績	0 0	350 0	350 -	350 -	350 -	350 -	350 -
	単 位	目 標 値 実 績							
	単 位	目 標 値 実 績							
	単 位	目 標 値 実 績							

後期基本計画 平成31年度 施策方針書

政 策 : 06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策 : 02 総合計画の推進と未来の価値の創造

施 策 : 02 未来に向けた滝沢の価値の創造

施策担当職・氏名 企画政策課 総括主査 山本 和広

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

盛岡広域連携中枢都市圏構想に基づく連携協約を盛岡市と締結し、経済成長のけん引、高次都市機能の集積・強化、生活関連機能サービスの向上に向けて、様々な分野で連携に向けた取組を進めています。また、様々な分野において本市の強みである大学等との連携・協力を推進しているほか、金融機関や民間事業者との包括連携協定の締結やそれに基づく取組の実施、防衛施設を有する自治体として防衛省、東北防衛局、岩手駐屯地との連携を強化しながら、財源の確保、施策の推進を図っています。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

人口減少や少子高齢化が加速する中で、盛岡広域都市圏における本市の果たす役割や機能、課題解決に向けた新たな価値を創造する取組が求められています。また、国が進める地方創生の動きにも注視し、それらと連動した取組を広域として検討する必要があります。また、国の防衛大綱や中期防衛力整備計画の見直しに伴う岩手駐屯地の再編や特定防衛施設周辺整備調整交付金に与える影響も注視する必要があります。

(3) 基本施策との関連性

「総合計画の推進と未来の価値の創造」のために、本市の恵まれた環境とこれまでの協働や連携の取り組みを活かし、多様なセクターとの共創による効果的な政策展開と経営資源（ヒト・モノ・カネ）を確保し、新たな価値の創造を図りながら、総合計画の確実な展開を推進します。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- ・民間企業等との新たな公民連携の手法について検討します
- ・大学との新たな連携のあり方を検討し、若い世代の地元定着と本市への愛着につなげる取組を推進します。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成31年度の重点課題

総合計画後期基本計画の確実な展開と、国が進める地方創生に向けた動向に注視しながら、それに対応した「滝沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の見直しや新たな展開を検討します。

(3) 基本計画内方針及び平成31年度重点課題に基づく優先順位の考え方

市民会議である「タキザワコレカラカイギ」や大学、民間事業者、盛岡広域7市町との連携によって、より広域的な視点から本市の果たす役割を考え、検討を進めるとともに、市民の本市への愛着につながる取組を研究します。

